

慶應義塾大学商学部

三田キャンパスでの新カリキュラムの概要（塾生向け）

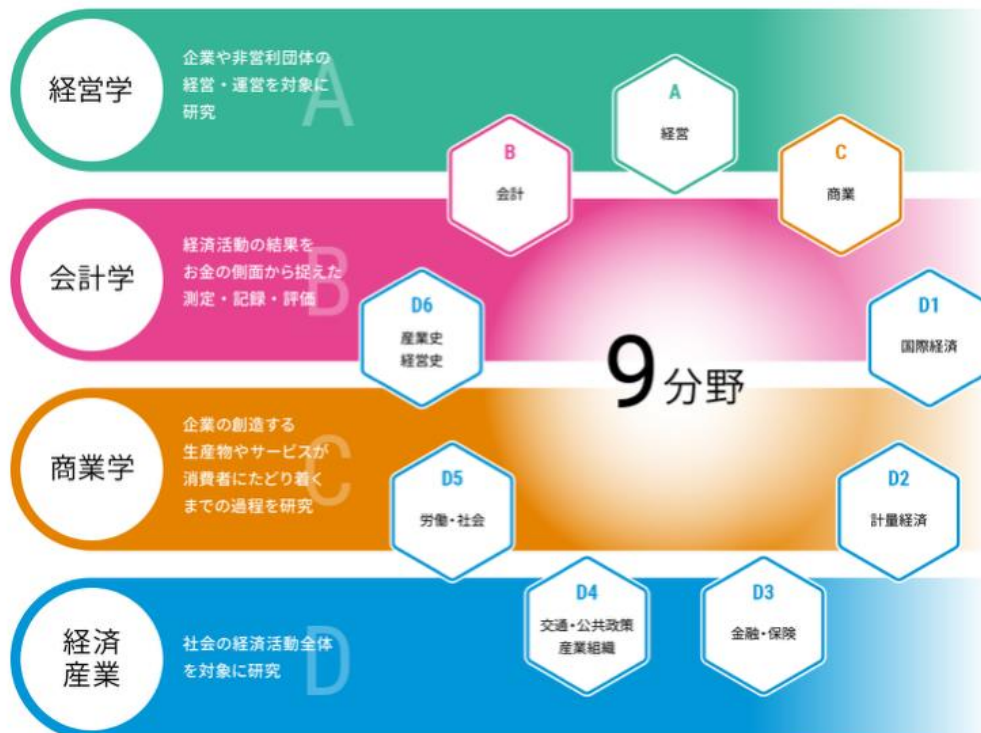
2021年度から、三田キャンパスでは、2019年度にスタートした新カリキュラムの運用が始まります。新カリキュラムでは、基礎・教養・総合力および多様な専門領域からなる「商学」をより体系的に習得することを目指しています。新カリキュラムの下、三田キャンパスでは「フィールド制」が導入されるほか、演習科目である研究会（ゼミ）と研究演習（旧専攻演習）の扱いが一部変更されます。新カリキュラムが適用される19学則対象者は、2021年度の履修案内とともに、以下の概要をよく確認しておいてください。

1. フィールド制

- フィールド制において、すべての専攻Ⅲ類「専攻フィールド選択科目」と専攻Ⅳ類「専攻フィールド演習科目」は、経営学・会計学・商業学・経済産業の4つの「フィールド」に分類されます。

※ さらに経済産業フィールド内には6つの「分野」も存在します。

※ GPP 関連科目およびグローバル・ラーニング等の演習科目は、4つのフィールドすべてと紐付けます。



- フィールドは、①専攻Ⅲ類科目の優先履修、②フィールド認定の2つにおいて利用されます。それ以外はフィールドを参考にしつつ、自由に科目を履修することができます。

① 専攻Ⅲ類科目の優先履修

- ☞ 春学期履修申告期間に19学則対象者の「フィールド」が決まります。研究会（ゼミ）を履修する人は研究会の所属フィールド、それ以外の人は履修申告時に選択するフィールドがそれぞれ適用されます。
- ☞ 専攻Ⅲ類「専攻フィールド選択科目」のうち、履修希望者が多い科目については、フィールドに応じて、以下の優先履修ルールに沿って履修が決まります。

専攻Ⅲ類科目の優先履修ルール：19学則対象者

- ▶ 原則として、自身と同じフィールドに属する科目については、抽選定員まで優先して履修できます（抽選定員を超えた場合は同じフィールドの履修希望者内で抽選が行われます）。
- ▶ ただし、経済産業フィールドの科目に関しては科目数が多いため、他のフィールドの学生にも優先枠が設定されます。具体的な優先枠は、経済産業フィールドが抽選定員数の50%、経済産業フィールド以外（経営学・商業学・会計学フィールド）が50%となります。

- ☞ その他の科目については、フィールドにかかわらず定員数まで自由に履修することができます。また、旧カリキュラム（05学則）対象者はフィールドを考慮せずに抽選が行われます。

② フィールド認定

- ☞ 19学則対象者は、フィールド内の科目を体系的に履修することを目的に、1つ以上の「フィールド認定」を受けることが卒業要件として課せられます。
- ☞ フィールド認定は、同じフィールド内で専攻科目Ⅳ類を1科目・専攻科目Ⅲ類を8単位以上を取得することで受けられます。
- ☞ その他の卒業要件は履修案内で確認してください。

2. その他体系的な履修に向けた取り組み

- 学問領域・分野としての体系的な履修ができるように、各フィールド・分野内での「カリキュラムマップ」を履修案内に提示します。
- 複数のフィールドを横断した体系的な履修をするための「プログラム」(科目群)を提示します。プログラムは、「グローバル」、「戦略」、「政策・規制」、「実証分析手法」、「理論・学説史・実践史」から構成されます。
- 日吉キャンパスから始まっている国際教養プログラム・数理科学プログラムに沿った体系的な履修が三田キャンパスでも推奨されます。

3. 研究会などの専攻 IV 類「専攻フィールド演習」科目

(1) 研究会 (ゼミ)

- 新カリキュラムでは以下のように3つのタイプの研究会があります。
 - ☞ タイプ1：3～4学年の2年間の履修が必要で、4学年末に8単位が付与される研究会(旧カリキュラムと同じ)
 - ☞ タイプ2：原則3～4学年の2年間の履修が必要だが、3学年末と4学年末にそれぞれ4単位ずつ付与される研究会
 - ☞ タイプ3：1年間の履修が必要で、学年末に4単位が付与される研究会(3学年および4学年に設置)
- 研究会毎にいずれかのタイプが決まっています。研究会を同一年度内に複数履修することはできません。
 - ※ 各研究会のタイプやフィールド等の情報は、商学部ゼミナール委員会 Web サイト(<http://news.fbc.keio.ac.jp/~fbc-zemi/index.html>)で確認してください。
- タイプ3は、教員の退任前の1年間および留学・特別研究期間前後の1年間に、募集停止せずに1年間だけゼミを開講するケース、また、タイプ1あるいはタイプ2の研究会に加えて、同一の先生がエキストラで開講するケースが該当します。
- タイプ3の研究会の履修者募集のタイミングは、タイプ1・2の研究会の2次募集選考の後になります。また、他学部生はタイプ3の研究会を履修することはできません。
 - ※ 2021年度はタイプ3の開講予定はありません。

(2) 研究演習ほか

- 新カリキュラムでは、旧カリキュラムでの「専攻演習」の代わりに、「**研究演習**」(2単位)を設置し、研究会に準じた半期単位の演習科目として位置づけます。
- 研究会を履修しない人の多くは、フィールド認定を受けるために、専攻IV類「**専攻フィールド演習科目**」である**研究演習の単位取得が必要になります**。なお、研究演習の抽選においては、専攻科目IV類科目の単位取得をしていない人が優先されます。
- 旧カリキュラムで専攻IV類「専攻フィールド演習科目」に分類されていた「外国語演習」や「関連課題研究」(新カリキュラムでの「国際教養演習」「社会数理各論」)は、新カリキュラムでは「商学関連科目」に分類されます。これらの科目はフィールド認定に必要な専攻IV類には含まれないので注意してください。

※ ゼミ選びに際して新カリキュラムへの質問が生じることも考えられるため、**2021年2月末まで以下のGoogleフォームで質問を受け付けます。回答は随時、以下のBOXフォルダで公表します。**

→ 質問受付フォーム：<http://bit.ly/35qC6X7>

→ 回答公表フォルダ：<https://keio.box.com/s/rv5dn94mjp7jlng1bnbdsmb8syvqk4ty>